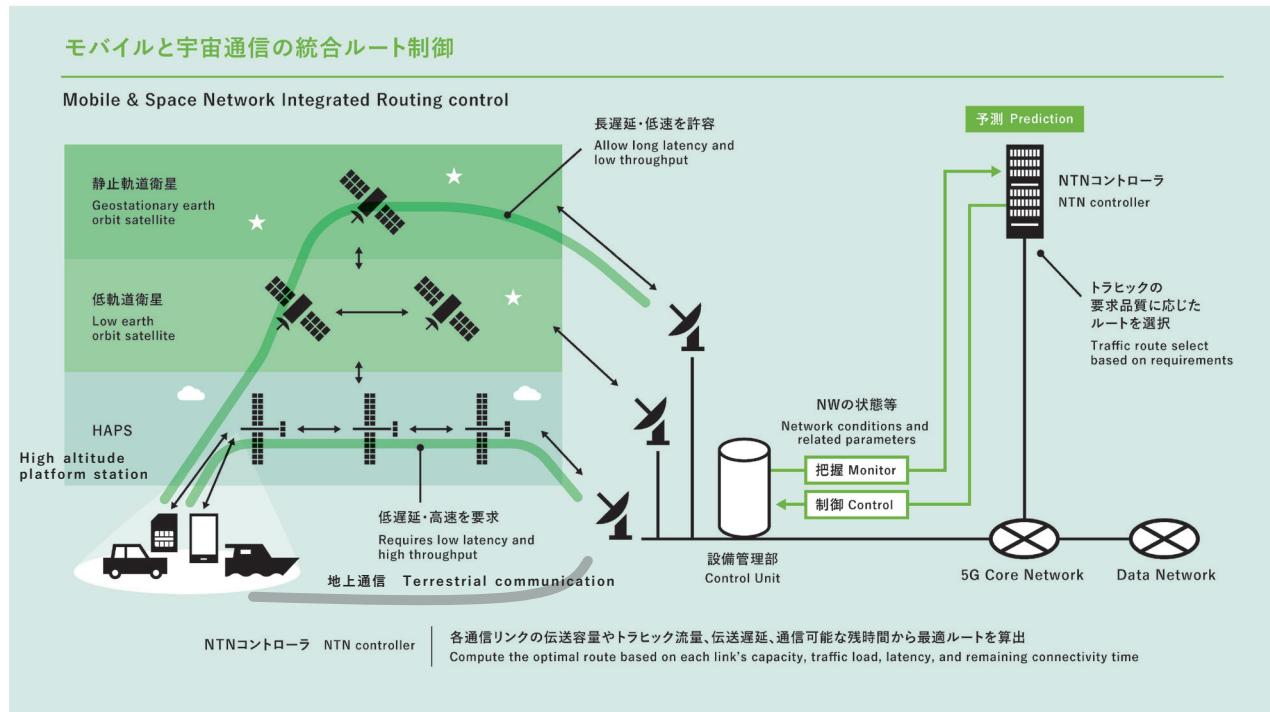


サービスの要求品質を考慮した通信ルート制御によりサービス品質を向上します モバイルと宇宙通信の統合ルート制御

背景 - 技術課題

宇宙通信は巨大なネットワークから構成され、さまざまな要因からサービス品質が大きく変動するため、総合的な情報から最適なルートを決定する必要があります。



研究目標 - 成果

宇宙通信の活用によりサービス提供可能エリアを拡大したモバイル通信の品質を向上させることで、新たな需要を開拓します。

技術ポイント

01 要素技術

ネットワーク状態や利用サービスに要求される品質に応じて地上モバイル通信と宇宙通信を統合管理し、アプリごとに算定したコスト値を元に最適なトラヒックルートを選択・設定するNTT独自技術

02 市中技術差異点

端末で取得可能な情報だけでなく、地上モバイル通信と宇宙通信からなる巨大ネットワークのノード間通信品質を把握し、端末の接続先やトラヒックの転送ルートを決定

利用シーン 宇宙・防衛

R&Dフェーズ 研究

技術確立予定期 時期 FY27-29

ビジネス化予定期 時期 FY30以降

【出展企業】
NTT株式会社 アクセスサービスシステム研究所

【問い合わせ先】
無線エントランスプロジェクト

【共同出展社/社外連携先】

【関連Link】
<https://journal.ntt.co.jp/wp-content/uploads/2025/03/JN202504.pdf>
<https://www.rd.ntt/as/asmedia/article/0004.html>